

04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報

NO.745

2004/03/25

全国労働組合総連合

TEL:03-5842-5611

FAX:03-5842-5620

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

年金改悪反対・国会座り込み行動昼集會に 150 名参加

国会座り込み行動は、小雨が降るなど不安定な空模様の下、12:15 から集會がスタートしました。

主催者あいさつで全労連・西川副議長は「憲法9条を踏みにじる自衛隊イラク派兵に続き、今度は年金改悪法案で憲法25条を引き裂こうとする小泉政権。派兵反対のビラを配り逮捕された社会保険庁の職員。どちらが憲法を守り尊重しているか、一目瞭然である。こうした状況下でも、3.20の国際行動は大きく成功した。長年に渡って争われた石播島の思想差別裁判は勝利し、生活保護切り下げ（学資保険）裁判も勝利した。年金改悪法案は憲法遵守のたたかいだ。4.15の年金ストでは、41地方が闘争体制を確立しており、4.15に噛み合う運動を今からどのように作り上げていくかが重要だ。参議院選挙勝利に向けて全力で奮闘しよう」と呼びかけた。

連帯あいさつでは、日本共産党の高橋ちづ子衆議院議員が「座り込みでの激励は、われわれにとっても大きな励ましになっている。しかし、本会議は抜き差しならない局面にあり、13日には衆議院で物価スライドによる0.3%の切り下げ法案が成立した。年金のみで生活しているお年寄りも全体の6割にも上る。2年連続引き下げの打撃は大きい。民主党の修正案は大いに問題があり、物価スライド引き下げに対しメスを入れるものになっていない。さらに、民主党は消費税増税案の修正法案を提出すると思われる。そして、自民・民主両党で進められている有事法制。テロなどを理由に、戦争のできる国への道を開かせてはならない。ともにたたかきましょう」と発言した。

その後、国公労連が街頭宣伝のシール投票を模した一寸劇を披露。

決意表明では、年金者組合の金崎副委員長が、「保険料の連続引き上げ、給付の引き下げを審議抜きで政府の判断で行うという改悪、絶対に許せない。900万人を超える年金生活者の平均給付額は4万6千円。特に女性の年金は低くて、月に2、3万円が半分以上。今大事なのは、運動を大きく盛り上げ、今の政治基盤を切り崩していくことだ。4.15では、15の都道府県庁前に座り込みをする。県知事への個人請願もはじめる」と発言。

続いて都教組の松永執行委員は「年金改悪もそうだが、現在の社会の歪みを子供達はしっかりと見ている。今の政治は子供達の夢や未来を奪っている。イラク派兵強行も許せないが、石原都政は卒業式の日丸・君が代を義務付け、歌わなかった教職員を処分する方針に出た。さらに、生徒が歌わなかった場合も同様、教職員を処分する。戦前の歴史を思いさせる反動都政、断じて許せない。」と怒りをぶつけました。

愛労連の伊藤事務局次長は「いろいろな団体と一緒にネットワークを立ち上げ、年金学習会を行っている。ここで運動をしっかりと展開できなければ、改悪法案が一気に成立するだろう。阻止に向けてたたかっていきたい」とあいさつしました。

昼集會の参加者は年金者組合、国公労連を中心に約150名が参加しました。

建交労・年金改悪反対での労使合意がすすむ 全交渉単位で本格的な追求を！

4月以降に本格化する「年金改悪」法案の国会審議にあわせ、廃案を求めるたたかいが大きな焦点となってきます。全労連・国民春闘共闘や建交労は、このたたかいを広範な国民的共同に広げることを重視しています。春闘交渉真っ最中の今、中小企業労使での共同、学童や保育、福祉関連の職場では父母などとの共同を春闘交渉と一体で推進するチャンスです。

3月24日の大阪府本部基本集団交渉では、年金改悪と労災保険の民営化に反対する労使合意を実現し、首都圏運輸基本集交でも3月31日の夏季一時金交渉のなかで交渉テーブルに載せることを確認しました。関西生コンの集団交渉でも他労組と経営側との「共同アピール」合意に向けて協議・交渉を予定しています。秋田運送では、すでに「年金改悪反対」の労使共同アピールに合意しました。

すべての交渉単位は、年金問題を中心にした共同の合意を追求しましょう。（建交労『04春闘第2次月刊推進ニュース No.11』（3月18日付）より転載）

建交労・愛媛県本部、家族ぐるみの運動で 労災保険民営化反対署名1万3千筆突破

政府は3月19日、労災保険の見直しや雇用保険事業の「民間開放促進」等を内容とする「規制改革」3カ年計画を閣議決定しました。建交労は労災職業病部会を中心に25・26の両日、厚生労働省前入り込み行動を実施し、じん肺根絶、労災保険民営化反対の世論を大きく広げます。

建交労・愛媛県本部では、労災保険民営化反対署名を家族ぐるみの運動として展開。目標の1万2千筆を千筆上回る1万3千筆の署名を集約（3月23日現在）し、「5月末までに2万筆を達成しよう」と張り切っています。署名活動の中心は組合員600人の愛媛労災職業病支部です。組合員1人40筆を目標に、愛媛で2万筆の集約を1月の県本部執行委員会で意思統一しました。

支部は労災保険民営化反対とじん肺根絶、国鉄、ダンプの署名を12分会ごとに集計。トップを走る宇摩分会は組合員150人と家族ぐるみの運動で5300筆の民営化反対署名を集約しています。子どもや孫に署名用紙を送ったり、買い物先でもお願いするなど1人で100筆を超える署名を集めた人もあります。

県本部の沢田康夫書記長は「労災保険の民営化を阻止するためにも、小泉政権の悪政に反対し、くらし・福祉優先の政治に切り変えることが大事。7月の参議院選挙で政治革新を実現することを見据えながら署名活動に全力をあげたい」と語っています。

北海道・年金改悪阻止4/15統一行動へ 道8団体が共同アピール

史上最悪の年金改悪阻止をめざす4/15統一行動が1か月後にせまるなか、この統一行動を暴走する小泉内閣による国民生活破壊・憲法破壊政治の転換めざす「国民的・社会的な反撃」の共同行動にしようというアピールが道労連、北商連、新日本婦人の会、国民大運動実行委員会、社保協など道8団体で確認されました。

道内でも4/15は道医労連、全印総連、JM IUなど各単産がストライキでの決起のよびかけを行い、

「早朝のいっせいターミナル宣伝からはじまる過去最大の地域行動、行政区デモに全行政区でチャレンジ」（札幌地区労連）など、地域行動の協議がすすんでいます。

6日に行われた協議では8団体と札幌地区労連が「未曾有の攻撃に対する国民の怒りの総結集が求められている」と一致、共同アピールと札幌での共同行動が確認されました。

岡山・年金改悪阻止県共同行動連絡会がル一行進開始

3月24日、県年金連絡会の全県リレー行進が美作、新見、笠岡の3コース始点からいっせいにスタートし、4月15日まで各地での行動をリレーし岡山市に向かいます。

各地の計画は、次のようになっています。（一部検討中のところがあります一決定しだいご連絡します。）

美作：3月24日朝早朝宣伝、昼要請行動、街頭宣伝、夜19時から学習会と全一日の行動。

新見：3月24日午後宣伝カーの街頭宣伝、署名、17時30分から小川公園での集会・デモ
既に3月21日、市街地での宣伝・署名行動を行っています。

笠岡、浅口：3月24日朝7時20分から笠岡駅前宣伝、昼デモ笠岡市役所、その他の地域では、ビラの地域配布・署名を行います。

医労連：定例の宣伝署名行動ーシンフォニーホール前

3月23日12時から岡山県医労連は、隔週木曜日の定例宣伝を行い、シンフォニーホール前で約15人が、年金改悪反対の宣伝署名を行いました。昼休みの労働者や通行人が訴えにこたえて署名に応じてくれました。



▲岡山での取り組みの様子

情報をお待ちしています。メールアドレス katagiri@zenroren.ge.jp まで。